

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公開番号】特開2009-161447(P2009-161447A)

【公開日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-029

【出願番号】特願2007-339643(P2007-339643)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/35 (2006.01)

A 6 1 K 8/60 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

A 6 1 K 31/11 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/34

A 6 1 Q 11/00

A 6 1 K 8/35

A 6 1 K 8/60

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 31/045

A 6 1 K 31/11

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/14

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

( A ) シンナミックアルコール及びペリラルデヒドから選ばれる香気性化合物、並びに ( B ) ショ糖脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル及びポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステルから選ばれるノニオン性界面活性剤を含有する唾液中へのイムノグロブリン A 分泌促進剤。

【請求項 2】

成分 ( A ) と成分 ( B ) との質量比 [ ( A ) : ( B ) ] が 1 : 0 . 2 ~ 1 : 5 0 である請求項 1 記載の唾液中へのイムノグロブリン A 分泌促進剤。

【請求項 3】

成分（Ｂ）のノニオン性界面活性剤の各脂肪酸部分の平均炭素数が１０～１８である請求項１又は２記載の唾液中へのイムノグロブリンＡ分泌促進剤。

【請求項４】

（Ａ）シンナミックアルコール及びペリラアルデヒドから選ばれる香気性化合物、並びに（Ｂ）ショ糖脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル及びポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステルから選ばれるノニオン性界面活性剤を含有する口腔用組成物。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

そこで本発明者らは、口腔内に適用したとき、分泌型ＩｇＡ産生量を増加させ、歯垢等のバイオフィルム生成を抑制する成分について検討したところ、シンナミックアルコール及びペリラアルデヒドから選ばれる香気性化合物と、ショ糖脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル及びポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステルから選ばれるノニオン性界面活性剤とを組み合わせ用いた場合に、唾液中への顕著なＩｇＡ分泌促進効果、並びに口腔内のバイオフィルム生成抑制による歯垢付着抑制効果を有する口腔用組成物が得られることを見出した。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

本発明は、（Ａ）シンナミックアルコール及びペリラアルデヒドから選ばれる香気性化合物、並びに（Ｂ）ショ糖脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル及びポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステルから選ばれるノニオン性界面活性剤を含有する唾液中へのＩｇＡ分泌促進剤及びこれらを含む口腔用組成物を提供するものである。